

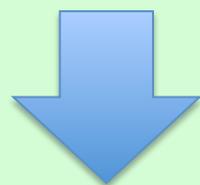
「実践的手術手技向上研修事業」 5年間の総括

愛媛大学解剖学発生学

松田正司

謝辞：本事業は平成24, 25, 26, 27, 28年度の厚生労働省「実践的な手術手技向上研修事業」の支援を受け、実施されたものです。この場をお借りして御礼申し上げます。

厚生労働省「広くその対象ブロックの医師・歯科医師が参加出来るように、特に学外参加者に配慮すること」



広報、募集等は臨床各科に任せたが、各科への**予算配分では他施設からの講師費用を全額上乗せし、他施設からの参加者数を参考に配分額を決めた。**



多くの学外医師会員の参加。
医師会からの認知。
医師会から1000万円支援。

現状

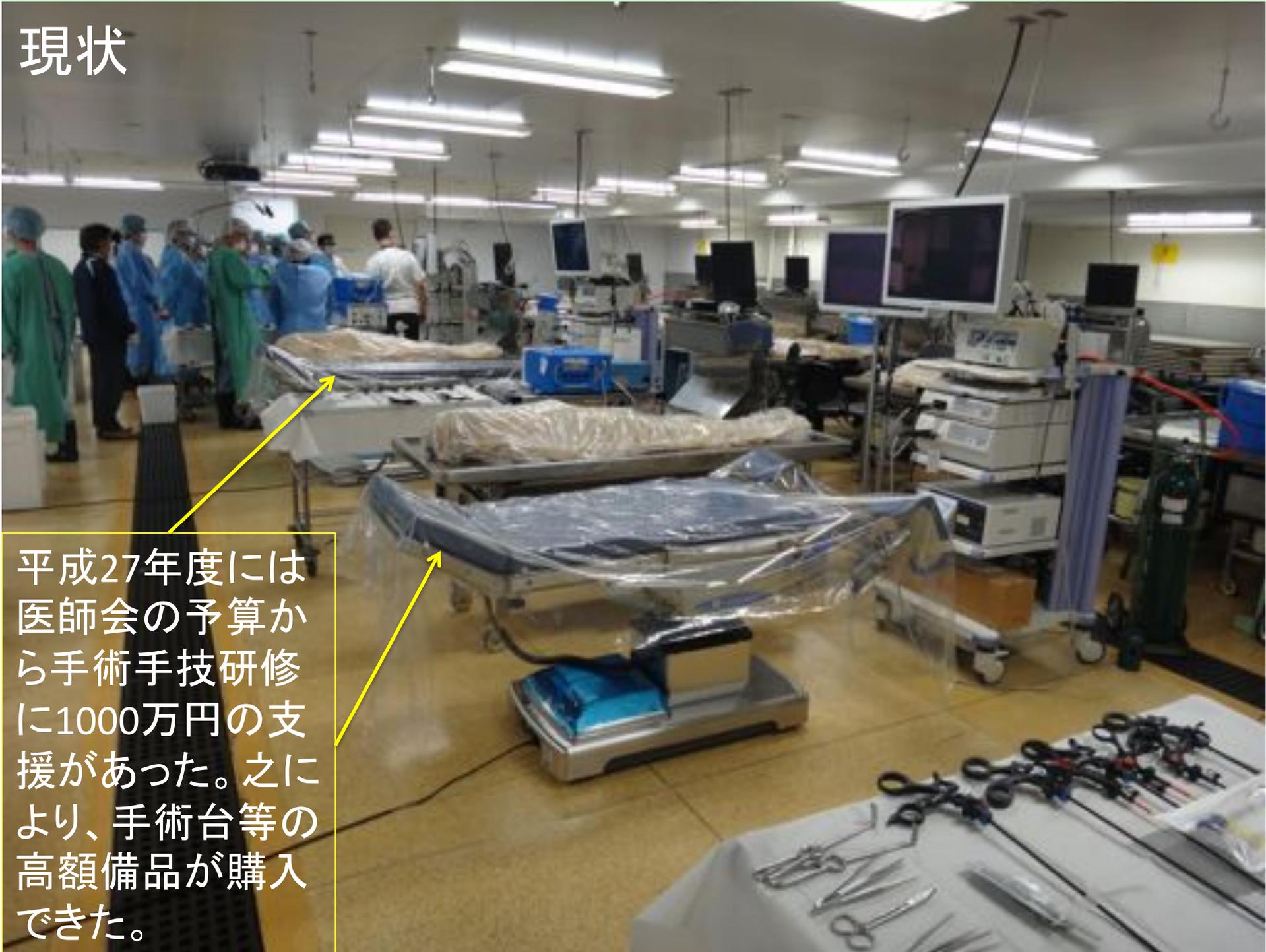
28年度予算配分予定額										26年度実績							
		貸金	講師費用(謝金+旅費+宿泊費)	消耗品費(手術器具、白衣、手袋等)	印刷製本費	会議費	連絡費	利用料、貸借料	26年度	27年度	28予算案(千円)	参加講座	開催回数	のべ参加者(医師)	学内	学外	学外施設(四国外)
外科	肝胆臓移植外科			400				300	700	700	700	肝胆臓移植外科	8	67	47	15	0
	心血管外科			300					300	300	300	心臓血管呼吸器外科	1	8	8	0	0
	消化器腫瘍外科			300					300	300	300	消化器腫瘍外科	1	7	6	1	0
	脳神経外科		170	330				200	700	700	700	脳神経外科	6	84	49	35	10
	耳鼻咽喉科		170	330				200	700	700	700	耳鼻咽喉科	3	40	35	5	0
												整形外科(脊髄)	2	76	6	70	7
	整形外科		170	530					700	700	700	整形外科(関節)	6	108	26	82	0
	眼科学			300					300	350	350	眼科	2	33	6	27	12
	泌尿器科			300					300	300	300	泌尿器科	1	9	9	0	0
	産科婦人科			300					300	350	300	産科婦人科	6	20	20	0	0
	救急医学		120	240					300	350	300	救急医学	3	33	25	8	1
	麻酔蘇生学		50	250					300	300	300	麻酔科	1	21	11	10	4
内科	1内科・研修C			300					300	300	300	一内科研修C	1	12	12	0	0
	2内科			300					300	300	300	二内科	1	10	9	1	0
	3内科			300					300	300	300	三内科(光学)	1	6	6	0	0
歯科	歯科口腔外科		170	330					500	500	500	歯科口腔外科	1	41	12	29	13
	臨床器材		150	150					300	300	250	解剖学	3	42	1	41	41
解剖学		180		120					300	300	250						
実習室	固定液等			703					663	673	573						

厚労省 予算 7563 7723 7423

青色部分を加算評価

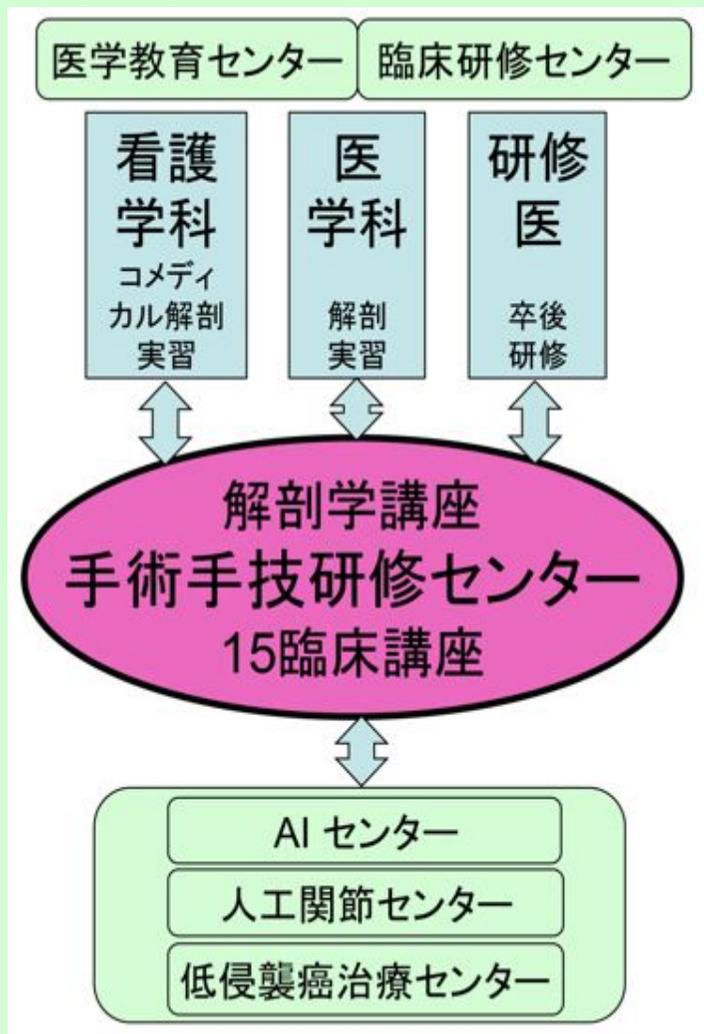
解剖学講座は最低額

現状

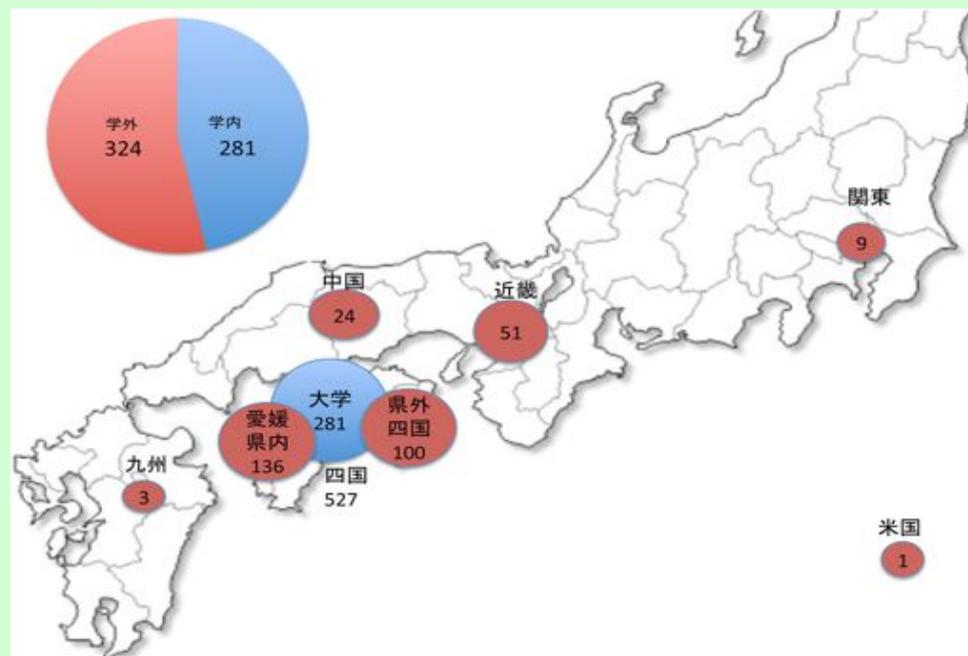


平成27年度には
医師会の予算か
ら手術手技研修
に1000万円の支
援があった。之に
より、手術台等
の高額備品が購
入できた。

現状



16講座、6センター
の協力関係



参加者の分布(平成26年度)



参加者医師数

現状

特記すべき研修1

内科学第一講座・
総合臨床研修センター

内科学第二講座

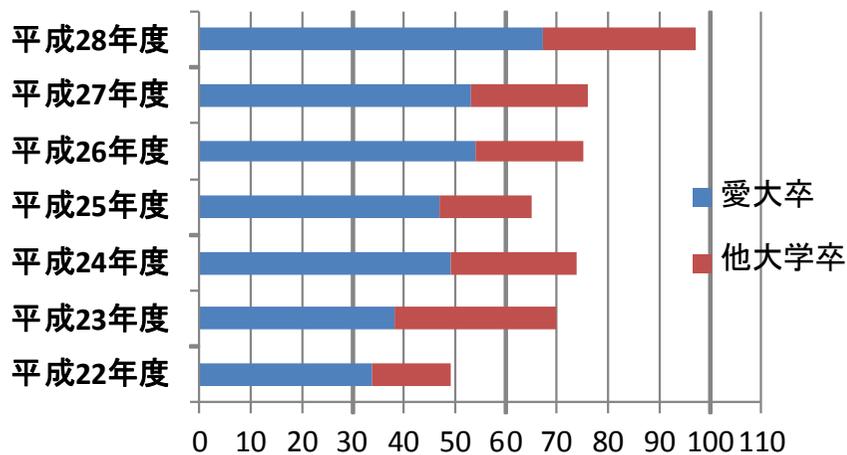


透過性の良い
透明アクリル
板の解剖台

簡易シミュレータとご遺体による
実践的手技習得(胸腔穿刺)



愛媛県内の初期研修医数(卒業大学別)



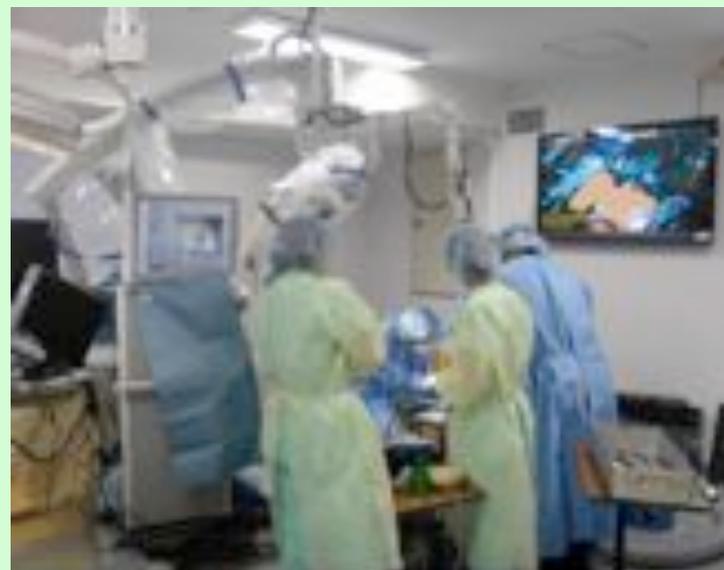
左鎖骨下静脈から各種リードを透
視下に留置し, 透視下でのリード位
置と実際の留置部位の差異を検討

現状

特記すべき研修2

脳神経外科・耳鼻咽喉科
ジョイントセミナー

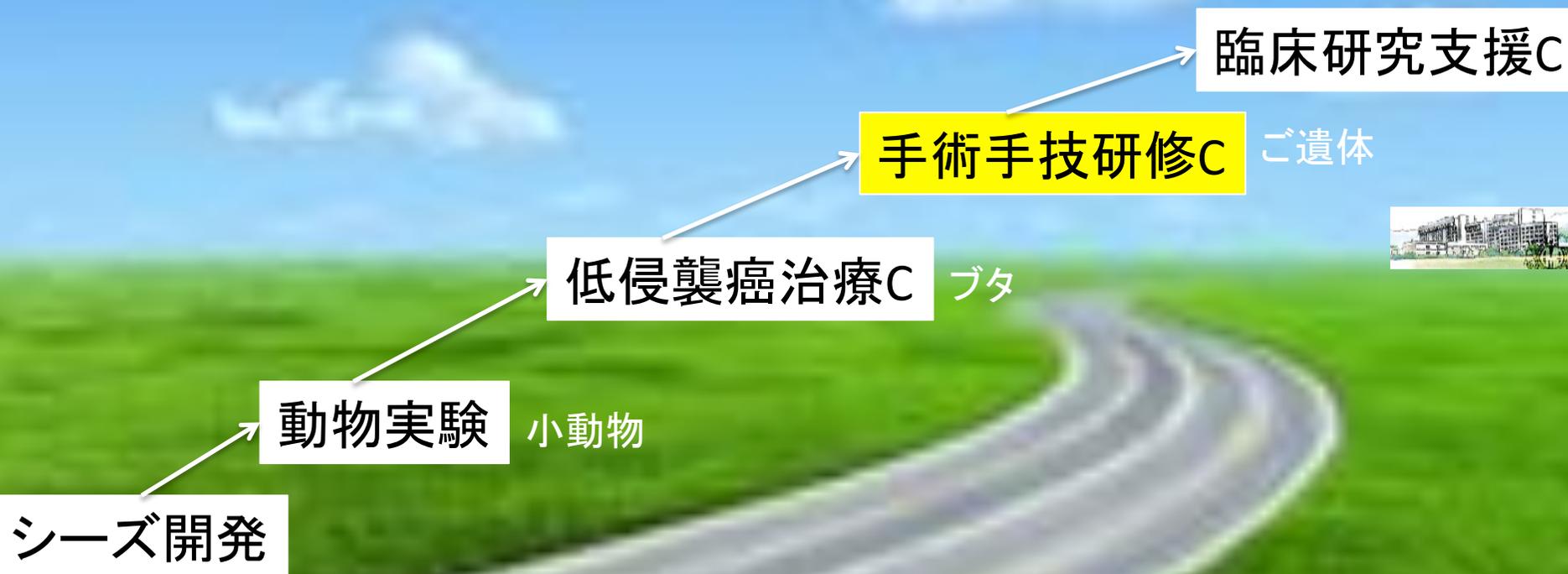
AIセンター



今後の展望

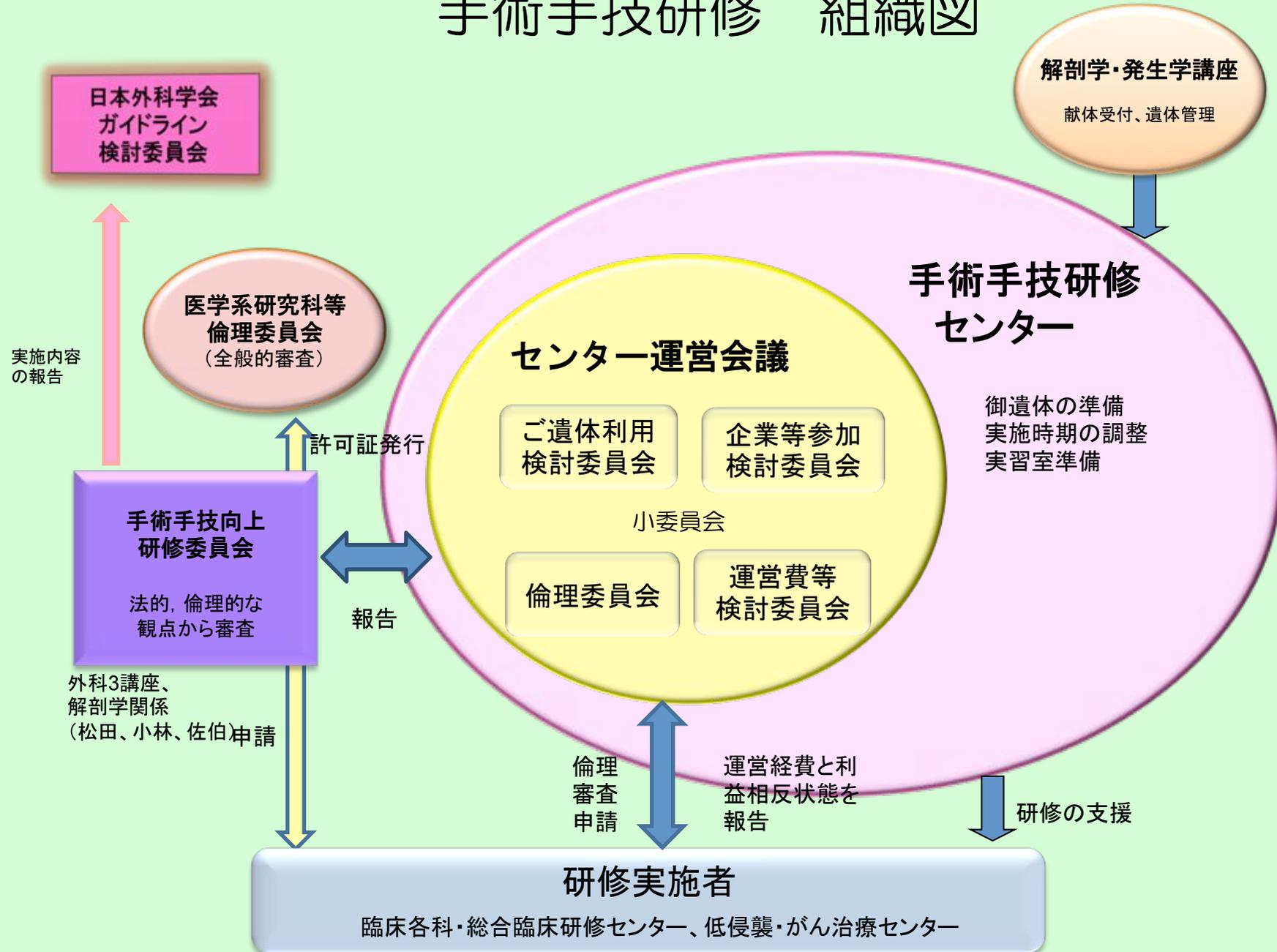
日本を救う、医療機器開発に関する 産学連携プラットフォームのスーパーハイウェイ構想

(TRCセンター長 今村健志 教授)



今後の展望

手術手技研修 組織図



解剖学・発生学講座

献体受付、遺体管理

手術手技研修
センター

御遺体の準備
実施時期の調整
実習室準備

センター運営会議

ご遺体利用
検討委員会

企業等参加
検討委員会

小委員会

倫理委員会

運営費等
検討委員会

日本外科学会
ガイドライン
検討委員会

医学系研究科等
倫理委員会
(全般的審査)

実施内容
の報告

手術手技向上
研修委員会

法的, 倫理的な
観点から審査

許可証発行

報告

外科3講座、
解剖学関係
(松田、小林、佐伯)申請

倫理
審査
申請

運営経費と利
益相反状態を
報告

研修の支援

研修実施者

臨床各科・総合臨床研修センター、低侵襲・がん治療センター

今後の展望

愛媛大学医学部附属手術手技研修センター運営会議小委員会内規(案)

第1条 愛媛大学医学部附属手術手技研修センター運営会議細則第8条の規定に基づき、愛媛大学医学部附属手術手技研修センター運営会議(以下「運営会議」という。)に次の小委員会を置き、それぞれ当該各号に掲げる業務を行う。

(1) 倫理委員会

ア 各講座から医学系研究科等倫理委員会に提出する審査申請書の内容を確認する。

イ 各講座から日本外科学会ガイドライン検討委員会に報告する「実施報告書」を取りまとめ、内容を審査し、必要に応じて各講座に修整を依頼し、運営会議へ報告する。

(2) 企業参加等検討委員会

ア 手術手技研修への企業参加を推進するため、適正な方法を検討し、運営会議に諮る。

イ 各講座から日本外科学会ガイドライン検討委員会に報告する「利益相反報告書」を取りまとめ、内容を審査し、必要に応じて各講座に修整を依頼し、運営会議へ報告する。

(3) 運営費等検討委員会

ア 手術手技研修の運営費について検討し、運営会議に諮る

イ 各講座から日本外科学会ガイドライン検討委員会に報告する「経理報告書」を取りまとめ、内容を審査し、必要に応じて各講座に修整を依頼し、運営会議へ報告する。

(4) ご遺体利用検討委員会

ア 各講座の研修の希望を集約し、配分を決定する。

イ 効率的なご遺体の利用方法を検討し、運営会議に諮る。